

2016年10月4日

ゼファー株式会社の株式譲渡について

株式会社産業革新機構（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）は、同社が保有するゼファー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：田中朝茂、以下「ゼファー」）の全株式について、電気興業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松澤幹夫、以下「電気興業」）に譲渡することを決定しましたのでお知らせ致します。

INCJは2010年5月、産学官のオープンイノベーションによって生まれた小形風力発電機を主力製品とする専門ベンチャー「ゼファー」の事業展開を支援するために、同社への投資を決定しました。投資以降も、今日に至るまで、INCJは、経営体制の強化や新規市場開拓、収益性強化等の面において、ハンズオンの支援を継続的に行ってきました。その結果、ゼファーは小形風力発電機市場において国内トップシェアの企業となっております。

一方、電気興業は、アンテナをはじめとした電気通信施設・通信機器の設計・製造・施工および高周波誘導加熱装置の製造・販売を手掛けており、今後の新たな事業領域として小形風力発電機事業に高い関心を持っていました。INCJは、将来的に、ゼファーが国内外の市場において更なる成長を目指すためには、販売等の面においてシナジー効果が期待できる事業会社に経営権を譲ることが適切であるとの判断から、このたび同社が保有するゼファーの全株式を電気興業に譲渡することとしました。

参考）INCJは、2010年5月に「小型風力発電ベンチャーのグローバル事業拡大に投資」、2012年4月に「同社への追加投資の決定」を公表しています。

URL: <http://www.incj.co.jp/PDF/1417414159.01.pdf>

<http://www.incj.co.jp/PDF/1333949080.02.pdf>

ゼファー株式会社について

設立 1997年6月
事業内容 風力、太陽光、水力、バッテリー等エネルギーに関する機器の開発、製造、販売、設置、輸出入、コンサルティング及びメンテナンス
所在地 東京都港区
代表者 田中朝茂
URL <https://zephyreco.co.jp/jp/>

電気興業株式会社について

設立 1950年6月
事業内容 電気通信部門：
各種アンテナ、鉄塔、局舎等の設計・製作・建設・販売
高周波部門：
高周波誘導加熱装置の設計・製造・販売、高周波熱処理受託加工
所在地 東京都千代田区
代表者 松澤幹夫
URL <http://www.denkikogyo.co.jp/>

株式会社産業革新機構（INCJ）について

INCJは、2009年7月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約2兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJは、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

株式会社 産業革新機構 企画調整 Gr. 広報 入江、坂井
東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング21階
電話：03-5218-7202 URL：<http://www.inci.co.jp/>

[別紙]

1. 対象事業会社

ゼファー株式会社

- ・設立 : 1997年6月
- ・代表者 : 田中朝茂
- ・所在地 : 東京都港区
- ・事業内容 : 風力、太陽光、水力、バッテリー等エネルギーに関する機器の開発、製造、販売、設置、輸出入、コンサルティング及びメンテナンス

2. 支援決定概要

・支援決定金額 : 総額 17 億円(上限、10 億円+7 億円)

・実投資額: 17 億円

・共同投資家:

・株式保有割合: 86.6%(追加投資後)

・支援決定公表日: 2010年5月

: 2012年4月(追加)

<https://www.incj.co.jp/news/assets/1417414159.01.pdf>

<https://www.incj.co.jp/news/assets/1333949080.02.pdf>

・投資ストラクチャー図:

<https://www.incj.co.jp/performance/upload/docs/1417414159.03.pdf>

3. 経緯

(1) 出資の経緯

ゼファー株式会社は、産学官のオープンイノベーションによって 1997 年 6 月に設立された小型風力発電の国内トップメーカー。INCJ は、2010 年 5 月、小型風力発電の潜在市場として、国内では住宅、CSR 市場、海外ではテレコム、住宅、小形ポート市場が有望であると想定し、ゼファーに対しグローバルプレイヤーの誕生を期待し 10 億円の投資を実行しました。

(2) 事業の進捗

国内 CSR 市場は堅調に推移し、海外テレコム市場も好調で、2012 年 4 月には、拡販に向けてグローバルな拠点展開、体制強化のために 7 億円の追加投資支援を決定しました。しかしながら、海外市場の立ち上がりが想定より時間がかかる等を背景に事業構造の見直しを行い、国内市場への対応を充実するとともに、経営体制の強化も図りました。

その後、投資時に想定した計画から遅れはあるものの、国内市場では FIT 制度(再生可能エネルギー固定価格買取制度)に対応した新機種を投入するなど、小型風力発電機市場では国内トップシェア

の企業に成長。海外市場でも、携帯基地局に加え、遠隔監視、離島等への需要も拡大しています。

(3)Exit の経緯・内容

一方、譲渡先の電気興業は、アンテナをはじめとした電気通信施設・通信機器の設計・製造・施工及び高周波誘導加熱装置の製造・販売を手掛けており、自社の通信設備とゼファーの風力発電機とのシナジーに高い関心を持っていました。INCJ は、当面の資金面、経営改善面での支援は完了したと判断し、今後、将来にわたってゼファーが国内外の市場において更なる成長を目指すためには、様々なシナジー効果が期待できる事業会社に経営権を譲ることが適切であるとの判断から、2016 年 10 月、保有するゼファーの全株式を電気興業に譲渡することとしました。

4. 主務大臣(経済産業大臣)の意見

ベンチャー企業等への積極的な支援は、今後も我が国の産業競争力の強化において重要である。本案件の反省に立って引き続きベンチャー企業等への支援を行うとともに、支援案件全体としての収益性の確保に努められたい。